



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 松田産業株式会社

コード番号 7456 URL <http://www.matsuda-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR部長

(氏名) 田代 芳孝

TEL 03-5381-0728

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	146,087	5.5	5,728	20.8	5,851	23.5	3,567	26.9
23年3月期第3四半期	138,462	21.8	4,741	41.1	4,737	47.6	2,811	53.5

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 3,408百万円 (25.6%) 23年3月期第3四半期 2,713百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	127.55	—
23年3月期第3四半期	99.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	61,859		40,644			65.7
23年3月期	61,042		38,349			62.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 40,644百万円 23年3月期 38,349百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
24年3月期	—	12.00	—		
24年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	3.5	7,000	15.7	7,200	17.3	4,400	21.2	158.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期3Q	28,908,581 株	23年3月期	28,908,581 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期3Q	1,162,311 株	23年3月期	790,678 株
----------	-------------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	27,966,040 株	23年3月期3Q	28,118,224 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2.	サマリー情報（その他）に関する事項	P. 4
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の変更	P. 4
(3)	会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示	P. 4
(4)	追加情報	P. 4
3.	四半期連結財務諸表	P. 5
(1)	四半期連結貸借対照表	P. 5
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(4)	継続企業の前提に関する注記	P. 10
(5)	セグメント情報	P. 10
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 10
(7)	重要な後発事象	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による景気後退からは持ち直しの動きが見られたものの、タイの洪水の影響に加えて、欧州の債務問題の表面化や円高の進行など、不安定な状況が続きました。

このような状況の中で、当社グループは貴金属関連事業および食品関連事業において、それぞれの顧客ニーズに対応した積極的な営業活動により損益の改善に努めてまいりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

貴金属関連事業

貴金属部門では、震災やタイの洪水影響によるサプライチェーンの寸断や生産活動の停滞に加え、国内外でのテレビ・PC販売の不振等により、主力顧客である半導体・電子部品業界の生産が落ち込んでいます。これを受け、当社の貴金属化成品や電子材料等の販売量は減少しました。また、貴金属原材料の回収も減少傾向となりましたが、貴金属価格の上昇により地金販売が増収となったことから、全体としての売上高は前年同期に比べ増収となりました。

また、環境部門においても銀価格が前年同期に比べ上昇していることから、売上高を押し上げることとなりました。

これらの結果、当該事業の売上高は 113,259百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益 4,784百万円（同17.1%増）となりました。

食品関連事業

食品関連事業では、厳しい経済状況のもと、消費者の低価格志向が強まる一方で、世界的な食材の値上がり傾向という厳しい事業環境が続いています。このような状況下で、すりみなどの水産品は震災影響による東北地区の一部顧客の生産停滞に加え、価格の先行き不透明感による買い控えや練り製品市場の縮小傾向もあり、売上高は前年同期に比べ減少しました。一方、畜産品は鶏卵を中心に売上高が増加しました。また、農産品は外食産業向けの野菜販売が減少しました。

これらの結果、当該事業の売上高は32,878百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益943百万円（同43.6%増）となりました。

以上により、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高146,087百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益5,728百万円（同20.8%増）、経常利益 5,851百万円（同23.5%増）、四半期純利益 3,567百万円（同26.9%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ816百万円増加し61,859百万円となりました。これは主として有形固定資産や無形固定資産が償却により減少したものの、売上債権や棚卸資産が増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,477万円減少し21,215百万円となりました。これは主として未払金・未払法人税等の減少によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ2,294百万円増加し40,644百万円となりました。これは主として配当金の支払いと自己株式の買付けにより減少したものの、当期の利益により増加したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動により1,981百万円増加し、投資活動に468百万円使用し、財務活動により1,349百万円減少した結果、換算差額後の資金は前連結会計年度末に比べ73百万円増加し6,678百万円となりました。

(営業活動のキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動により増加した資金は1,981百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益とそれに伴う法人税等の支払額と売掛債権・棚卸資産の増加の差引によるものです。尚、前年同期の1,821百万円の減少に比べ3,802百万円増加しました。

(投資活動のキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は468百万円となりました。これは主として工場設備の新設・更新等の有形固定資産取得によるものです。尚、前年同期の2,613百万円の支出に比べ2,145百万円減少しました。

(財務活動のキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果減少した資金は1,349百万円となりました。これは主に配当金の支払と自己株式の買付けによるものです。尚、前年同期の3,279百万円の増加に比べ4,628百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では、前回発表時（平成23年8月8日）の業績見通しを変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,609	6,682
受取手形及び売掛金	19,947	21,809
商品及び製品	6,667	7,740
仕掛品	366	244
原材料及び貯蔵品	6,918	6,875
繰延税金資産	718	412
未収入金	2,597	2,012
その他	1,525	712
貸倒引当金	△95	△20
流動資産合計	45,256	46,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,377	5,428
減価償却累計額	△2,997	△3,191
建物及び構築物(純額)	2,380	2,236
機械装置及び運搬具	4,708	4,798
減価償却累計額	△3,740	△3,959
機械装置及び運搬具(純額)	968	839
土地	7,670	7,537
リース資産	363	361
減価償却累計額	△157	△214
リース資産(純額)	206	146
建設仮勘定	406	556
その他	599	646
減価償却累計額	△490	△533
その他(純額)	108	113
有形固定資産合計	11,742	11,429
無形固定資産		
その他	846	632
無形固定資産合計	846	632
投資その他の資産		
投資有価証券	1,851	2,056
繰延税金資産	284	226
その他	1,233	1,209
貸倒引当金	△170	△166
投資その他の資産合計	3,197	3,326
固定資産合計	15,786	15,388
資産合計	61,042	61,859

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,416	10,116
短期借入金	—	647
1年内返済予定の長期借入金	998	698
リース債務	78	69
未払法人税等	1,410	853
賞与引当金	604	318
未払金	2,556	1,956
その他	2,621	3,114
流動負債合計	18,686	17,774
固定負債		
長期借入金	3,128	2,604
リース債務	128	77
退職給付引当金	276	254
役員退職慰労引当金	453	484
その他	19	20
固定負債合計	4,006	3,440
負債合計	22,692	21,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	31,884	34,778
自己株式	△782	△1,223
株主資本合計	38,670	41,123
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	102	79
繰延ヘッジ損益	△66	60
為替換算調整勘定	△356	△618
その他の包括利益累計額合計	△320	△478
純資産合計	38,349	40,644
負債純資産合計	61,042	61,859

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	138,462	146,087
売上原価	125,303	131,947
売上総利益	13,159	14,140
販売費及び一般管理費	8,417	8,412
営業利益	4,741	5,728
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	15	15
持分法による投資利益	163	297
仕入割引	46	27
受取家賃	32	45
その他	22	30
営業外収益合計	280	416
営業外費用		
支払利息	39	36
為替差損	209	171
貸貸収入原価	26	44
その他	8	39
営業外費用合計	284	292
経常利益	4,737	5,851
特別損失		
減損損失	22	—
固定資産除売却損	1	—
投資有価証券評価損	4	—
投資有価証券売却損	3	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37	—
特別損失合計	68	—
税金等調整前四半期純利益	4,668	5,851
法人税、住民税及び事業税	1,502	1,976
法人税等調整額	355	307
法人税等合計	1,857	2,284
少数株主損益調整前四半期純利益	2,811	3,567
四半期純利益	2,811	3,567

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,811	3,567
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	△23
繰延ヘッジ損益	△3	126
為替換算調整勘定	△44	△227
持分法適用会社に対する持分相当額	△35	△34
その他の包括利益合計	△97	△158
四半期包括利益	2,713	3,408
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,713	3,408
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,668	5,851
減価償却費及びその他の償却費	864	828
減損損失	22	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13	△79
賞与引当金の増減額(△は減少)	△317	△286
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△25	△22
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	27	30
受取利息及び受取配当金	△15	△16
支払利息	39	36
持分法による投資損益(△は益)	△163	△297
投資有価証券売却損益(△は益)	3	—
投資有価証券評価損益(△は益)	4	—
固定資産除売却損益(△は益)	1	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	37	—
売上債権の増減額(△は増加)	△4,181	△1,953
未収入金の増減額(△は増加)	1,096	581
たな卸資産の増減額(△は増加)	△421	△1,127
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,368	△182
未払金の増減額(△は減少)	△1,570	△542
その他	1,984	1,712
小計	672	4,533
利息及び配当金の受取額	15	16
利息の支払額	△40	△37
法人税等の支払額	△2,469	△2,530
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,821	1,981
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,568	△502
有形固定資産の売却による収入	—	68
無形固定資産の取得による支出	△16	△30
投資有価証券の取得による支出	△6	△6
投資有価証券の売却による収入	14	—
その他	△37	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,613	△468
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,500	647
長期借入れによる収入	2,800	—
長期借入金の返済による支出	△291	△823
自己株式の取得による支出	△0	△441
配当金の支払額	△674	△673
その他	△54	△59
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,279	△1,349
現金及び現金同等物に係る換算差額	△42	△89
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,198	73
現金及び現金同等物の期首残高	4,103	6,605
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,905	6,678

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	105,061	33,401	138,462	—	138,462
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	40	43	△ 43	—
計	105,064	33,441	138,506	△ 43	138,462
セグメント利益	4,084	657	4,741	—	4,741

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	113,255	32,832	146,087	—	146,087
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	46	49	△ 49	—
計	113,259	32,878	146,137	△ 49	146,087
セグメント利益	4,784	943	5,728	—	5,728

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)
該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

(タイにおける洪水被害)

平成23年10月に発生いたしましたタイの洪水により、当社連結子会社Matsuda Sangyo(Thailand) Co.,Ltd.において、主に建物及び生産設備、棚卸資産等で被害を受けました。当該会社は損害保険に加入しておりますが、洪水の被害額及び保険金額については、現在算定中であります。